

ごみ処理施設特別委員会の審議内容

◎北アルプス広域連合が計画している、新ごみ処理施設建設設計画を白紙撤回し、学識経験者、住民代表を含めた「ごみ問題特別委員会」（仮称）の設置を求める陳情書

めない限り、3年でも5年でも続きます。基本的に住民を入れないことに問題がありません。

●北アルプス広域連合議会へ白紙撤回して戻し、3市村の中で学識経験者、住民代表を出して議論しても、白馬で白紙撤回したものは、話しが進みません。広域連合と条件を話し合い、村の中で用地の適地を選定して、学識経験者、住民代表を含めた委員会を設けるのが妥当です。何故広域連合に、白馬で引き受けたので「白馬村で決定させてくれ」と、お願いできないのですか。一旦広域に返し、改めて決定することは不可能に近く、広域連合に返す白紙撤回には反対です。

●平成20年度に決定しても、環境アセス等調査をすれば、平成22年稼働は難しく平成23年稼働になると思われます。したがって、民意の反映する選定委員会によることは、必然的に難しくなります。

●村民不在のため、陳情書の提出は当たり前です。同じテーブルに着いた方が解決は早いし、根本的なところを改

●村民不在のため、陳情書の提出は当たり前です。同じテーブルに着いた方が解決は早いし、根本的なところを改

採択と決定しました。

◎北アルプス広域連合が白馬村飯森地区に計画中的のごみ処理施設の建設についての住民投票に関する条例の制定

●住民投票によって、賛否を問う方法が単純明快です。村長が提案したアンケートは、的確な判断をするには設問が

難しいため、危険性があります。飯森地区としては、意思を表しているのですか。飯森地区はOKをとったという前提で、住民投票をしてもよいのか疑問に感じます。飯森地区が賛成であれば、住民投票をしても妥当ですが、反対であれば、地区の意思を無視して村で決めるのは、非常に不自然な決め方です。飯森地区の意思が、確認できているのですか。

分議論する必要があります。●説明会をしても説得する説明ばかりです。住民投票は色が強いので、民意の把握は第一段階としてアンケートで実施、住民投票に近いアンケートでどうですか。継続にして慎重審議が必要です。●住民投票を提案したときに、村長は答弁で「村にはそぐわない」と言われました。住民投票は、明快に答えが出るので発議に賛成しました。議論を重ねることは賛成です。

ごみ処理施設イメージ写真



参考(村長)

「飯森地区一人ひとり確認を取れているか」と聞かれれば、文章で取ったものはありません。

●アンケートは、採め事が出来る可能性があるので、明快な住民投票の方がよいです。

●メリット、デメリットがあるので、十

●小川村の住民投票をみると、賛否ではなく「小川村の自立」・「長野市に合併」のよう

◎新ごみ処理施設建設の賛否を問う住民投票条例制定の陳情書

●条例の制定と同じ

*賛成2名・継続7名で継続審査と決定しました。